

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置の実施状況に係る面談
2. 日時：令和2年11月24日(火)13時30分～14時15分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、上野管理官補佐、

加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他 7名

#### 5. 要旨

○原子力機構から、令和2年11月21日に発生した、高放射性廃液貯蔵場周辺地盤改良工事における電源ケーブルの誤切断によるプルトニウム転換技術開発施設の臨界警報装置の臨界監視機能の停止について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、地盤改良工事に当たっては、本庁の監視担当部署や現地検査官ともコミュニケーションをとり、安全を確保した上で作業を再開することをコメントするとともに、廃止措置を適切に実施していくため、今回の事象の発生原因や対応上の問題点等について事業者自らの品質保証活動において不適合管理を実施することを指摘した。

○原子力機構より、了解した旨返答があった。

#### 6. 配付資料

資料1：事象報告シート